

---

## トヨタ自動車株式会社から6MVAの瞬低補償装置を受注 瞬低・停電に敏感な半導体工場の電源品質向上に寄与

---

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:町田 精孝)は、瞬停補償装置(以下MPC)をトヨタ自動車株式会社(愛知県豊田市)から受注しました。

MPCは、通常給電時に負荷設備へ商用電源を直送し、瞬時電圧低下や瞬時停電を検出すると、高速解列スイッチにより商用電源を遮断するとともに、双方向コンバータがエネルギー蓄積装置(蓄電池、キャパシタなど)から負荷設備への給電を行う装置です。瞬時電圧低下による製造ラインへの影響が大きい設備に重用されており、当社はこれまで、半導体工場、液晶工場、フィルム製造ラインなど向けに多数納入しています。

今回、トヨタ自動車株式会社は、自動車用半導体を製造する広瀬工場に商用電力システムの瞬時電圧低下による生産設備への影響防止を目的に保有していたガスタービン発電設備の更新に際して、CO<sub>2</sub>などの環境負荷低減に配慮した静止型機器への切り替えを検討していました。

当社のMPCは、0.5MVA~12MVAの各種容量、メカスイッチ/半導体スイッチ2種類の切換スイッチ対応、屋内/屋外対応とEDLC/蓄電池などのバックアップ用エネルギー適用技術という豊富なラインナップを揃えています。トヨタ自動車株式会社は、従来のガスタービン発電設備に比べ、以下のメリットがあると判断し、設備定格容量6MVAのMPCを導入することに至りました。

### <MPC導入のメリット>

- ・長期点検期間が不要であり、メンテナンス性に優れる
- ・設備維持のランニングコストの低減が可能
- ・CO<sub>2</sub>などの環境負荷の低減に寄与

従来型のガスタービン発電設備による瞬停防止対策を実施している製造工場は、日本国内に多数稼働しており、その更新需要は相当数が見込まれています。現在までに90システム以上、総容量460MVA超の納入実績を誇る当社は、「エネルギー」と「環境負荷低減」をキーワードに社会貢献することで事業拡大を目指していきます。

---

### 報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。